

2012年度仲間増やしは、700世帯超過達成ということ、過去十数年間でもはじめてのことでした。この中で一番すごかったのは、年度末で、あと5日しかないというときに3法人が1つになって、残り60世帯を増やしたということです。

仲間増やし月間は10月～12月末まででした。月間がはじまる前に、大田病院をはじめとした各診療所・歯科の患者さんで、生協未加入の方に所長名の加入のお願いを送りました。月間直前には「生協組合員と医療・介護活動交流会」を行い、組合員と職員の相互理解を深めました。

毎週火曜日を中心に、各地域で訪問行動を行い、延べ150人の参加で55世帯の加入があり



池上・中央支部 星野 弘子さん

みんなの力で 年間目標達成

なっています。事例をあげますと、電話での相談でしたが、ある事情から大家から退去を命じられてしまっていたことが困難になってしまったとのことでした。独り暮らしでもあり、すぐにさわやかサポートに連絡したところ、訪問対象となりました。後日訪問して、直接お話を聞く中で、生活保護の申請をすることになり、現在は新しいアパートも見つかりました。

これからもこうした連携をい

ました。そして、いろいろな行事などでも、46世帯の加入がありました。とにかく人の集まるところでは加入を訴えようという全員がすすんできました。

月間では、700世帯の年間目標の90%・630世帯までの到達をめざしました。しかし、残念ながら532世帯で、あと168世帯というところで月間終了となりました。

月間は終わりましたが、年度末まではあと3カ月あるということ、この残り168世帯を3月末までにやりきろうとなり、理事会でも意思統一しました。

この間、仲間増やし月間ニュースというものが毎日発行されました。そのニュースを見返してみると、特徴があらわなところから、まんべんなく成果が上がっていたのです。すべてのみなさんが一丸となって、それぞれの場所を力発揮したということがよくわかりました。

地域訪問は、組合員と職員が一緒に行っています。中でも、若い職員は非常に熱心でした。ある時、私が大田病院に行くとき、まだ入職して半年ほどの職員が「星野さん、残りあと2桁になりましたよ。がんばりましょう。手、届きますね」といいました。本当にうれしく思いました。

この月間は、組合員全員の成果です。それが一番よかったことだと思えました。

地域に貢献 できる診療所

みなさまにご協力いただいている新ゆたか診療所。地域共同基金と募金ですが、目標としていた5000万円を大きく超えました。本当にありがとうございます。

新診療所は8月5日開所となります。新築に当たって、どのように地域に貢献できるのかを、建設委員会で話し合っていました。多機能診療所としての機能をより大きくしようと考えています。具体的には、通所リハビリテーションの定員を15人から20人まで拡大します。

品川には、通所リハビリテーションをやっている事業所が非常に少なく、3カ所しかありません。地域の方からの要望も多く、20名定員で、より多くの方に利用してもらいたいと思います。

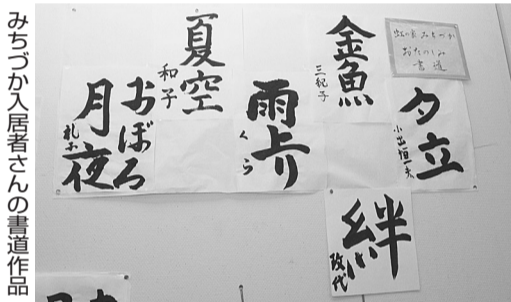
介護保険室、ケアマネジャーも増員しました。訪問看護STも診療所の中に入れて、相談室も設けて、相談したい方が来やすいような環境をつくりたいです。また3階にはゆたかの家も入ります。60～70人くらい入れるスペースも設けました。外来のない日には、地域の方々に利用していただけるように、貸し出し基準なども検討しています。

今回の移転は防災上の理由で、品川区からの要請で済ましました。新診療所にも地下に貯水槽を設け、防災品なども診療所の中に置けるようなスペースをつくりたいです。

これからも診療所に来ていただいているいろいろなご意見・ご要望を寄せていただいて、よりよい診療所にしていきたいと思っています。



ゆたか診療所事務局長 谷岸 祥行 総代



みちづか入居者さんの書道作品

ボランティアの方に支えられて



虹の家みちづか所長 綿貫有子さん

グループホームはみちづかとおかげの2カ所、27の方が入居されています。みんな本気で元気で、パワーがあります。毎日のように「どっか行きましょよ！どこに行きましょよ」と言われて朝がはじまるという状況です。

グループホームは生活するところなので、毎日、そうじや洗濯、食事をして過ごしています。そうした中で、できるだけボランティアなど多くの方に参加していただいて、いろいろなことをしてもらいたいと思っています。

今年2月に行われた城南文化祭で、入居者さんが歌を歌いました。アコーディオンで伴奏してもらったのですが、この方はもう5年くらい、月1回ボランティアで来てくださっています。

今回、総代会の会場に、書道の作品を展示させてもらいました。

た。これもボランティアの方に教えていただいています。先生は教え方がうまくて、みんな本当に楽しんで書いています。

お茶の先生も来て、月1回おいしいお茶とお菓子をいただき、この時間はみんな本当に静かになります。そのお茶の先生の紹介で、ハーモニカの先生が来てくれたりもしています。

また、ちぎり絵もやっています。ものすごく悩んで、考えてハガキに傘の絵などを描いたりしています。「それ、私がつくったのよ」と、一枚つくった充実感を味わって、楽しく過ごしています。

入居者さんからも、「前にデイサービスでこんなのがよかったですよ」と、腹話術の方を紹介してくれました。これが本当にかわいくて、人形なのに赤ちゃんみたいな感じになってきて「こっちは向いて、「ア」、返事してくれ」と言っています。

みなさんもこんなことやたらなど、どんどん提案していただいで、ぜひ力を貸していただきたいと思えます。職員も一生懸命やっています。またグループホームで働きたいという方がいらっしゃったら、ぜひご紹介ください。

利用者さんに 寄り添って



ヘルパーステーションすずらん 江口 雅人 総代

今年度は改選期ではありませんが、理事1名が退職により退任となりました。新任理事1名を含め全体で40名の理事と3名の監事となります。

退任理事 橋本 雪子
新任理事 島田せい子(大田病院事務次長・介護保険室)

今年4月、すずらん全体で大規模な人事異動がありました。とくに訪問介護なので、道がわからず、覚えるのに相当時間がかかりました。今まで行っていた業務も、新たに加わり大変でした。しかし、まわりのフォロワーもあり、大きな混乱もなく今日までできています。

私は、すずらん浦田の主任となりましたが、みんなで話し合い、困難をともに乗り越える中で、お互いの成長を認め合っていると思います。また、新人の育成にも力を入れ、成長し合っていると思います。

利用者さんの日常生活だけではなく、その人らしく生きるという気持ちを大切に、寄り添いながら関わっていきたくです。また、いろいろな病状に合わせたケアを行えるよう知識と技術を向上し、他職種と連携をはかりながら、住み慣れた我が家で、少しでも利用者さんが長く暮らせるように支援していきたいと思えます。

また、訪問した際に、コミュニケーションを多く持つことで利用者さんとご家族が笑顔を出していただけるように心がけて、これからもケアしていきたいと思えます。

『薬剤師 急募中！ 薬剤師さんをご紹介ください』

地域医療をまもる薬局

(URL) <http://jyounaniyaku.co.jp/>

本 部	〒143-0012	大田区大森東4-18-3	tel.3298-2421 / fax.3298-2422
大 森 薬 局	〒143-0014	大田区大森中1-22-1	tel.3298-4901 / fax.3298-4904
み つ ぎ 薬 局	〒141-0033	品川区西品川2-6-4	tel.3493-1493 / fax.5434-8747
う の き 薬 局	〒146-0091	大田区鶴の木2-2-9	tel.5482-8931 / fax.5482-8933
目 黒 本 町 薬 局	〒152-0002	目黒区目黒本町6-6-5	tel.5720-5048 / fax.5720-5049
東 六 郷 1 丁 目 薬 局	〒144-0046	大田区東六郷1-24-16	tel.5714-4193 / fax.5714-4194
上 目 黒 4 丁 目 薬 局	〒153-0051	目黒区上目黒4-21-9	tel.5724-4193 / fax.5724-4198
介護ショップらくだ	〒143-0012	大田区大森東3-9-18	tel.5762-8568 / fax.5762-8569
福祉タクシーらくだ			
本社営業所	〒143-0012	大田区大森東3-9-18	tel.3763-0204 / fax.5762-8569
久が原営業所	〒146-0081	大田区仲池上2-30-16	tel.5747-3870 / fax.5747-3871

福祉タクシー らくだ

タクシー運賃・料金は普通タクシーと同じ初乗運賃710円です。福祉タクシー「らくだ」は、車いすに乗ったまま、安全運転でお送りいたします。付き添いの方も3人までお乗りいただけます。

寝台車両の運賃は国土交通省認可料金です。
(各営業所へお問い合わせください)

営業時間 午前7時～午後7時
受付 午前9時～午後5時
年中無休

本社営業所
TEL 3763-0204 FAX 5762-8569
久が原営業所
TEL 5747-3870 FAX 5747-3871